

トゲソの会活動ニュース1号

2014年6月

3月～5月

NPO法人
五泉トゲソの会



【高橋理事長挨拶】 ■ 平成26年度の総会が5月25日に終わりました。支援者の皆様、応援ありがとうございます。トゲソの会は結成から17年度目となります。

会では「セブン-イレブンみどりの基金」様より自立支援事業の助成を受け、組織財政の自立を目指しております。今年が助成の最終年となります。トゲソの保護を目的とした、農産物の販売と登録文化財・坂田家の利活用の展開をしております。

坂田家内に事務所があり、平日は9時頃からスタッフがおります。近くにお出の際はぜひお立ち寄り願います。

今年一年、ご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

1、生物多様性保全ネットワークシンポジウムへ参加(3月8日)

◆水辺を支配する「外来カメ類」の脅威が大きくなっています。

これは、当会が加入している生物多様性保全ネットワーク新潟のシンポジウムで発表されました。

当日は「アカミミカメ問題の現状と対策」として認定NPO法人生態工房の片岡友美さんより基調講演がありました。アカミミガメは、縁日などで売っているミドリガメが大きくなったものです。最近、ペットとして飼われたものが放棄され、公園などの池で目立ってきているそうです。当会からは3名が参加して学習してきました。



2、トゲソの里のドロ浚い(3月30日)



▲ 春一番の水路ドロ上げ作業

◆ トゲソの水路江さらいが3月末の荒れた天候の中で行われました。この活動は毎年、年度末に行っている水路の清掃活動です。

当日は、まだ菅名岳に残雪が残っており、時折冷たい小雨が降る寒い日でした。作業は寒い中にも春の訪れを感じるものでした。

子どもを含めて、11名の参加がありました。作業の間には、恒例の焼き芋ティータイムがあり、春一番の活動スタートとなりました。2年前から、トゲソが減少しています。水路の維持管理は重要な活動です。作業は力仕事のドロ上げですが、これからも楽しく取り組みたいものです。皆様、ご苦労さまでした。

3、イオンの贈呈式に出席 (4月11日)

◆ 4月11日にイオン新発田店において「黄色いレシートキャンペーン」の授与式がありました。

これは、毎月11日に発券される黄色のレシートをお客様から登録団体のボックスに投票していただくことにより、購入金総額の1%がその団体に助成されるCSR事業です。

今回は、1年間の黄色いレシートによる支援助成額として2万3千7百円の商品券をいただきました。

さっそく、デジタルカメラなどの事務用品を買わせていただきました。今後の活動に使用させていただきます。ありがとうございました。



▲ 贈呈を受けデジカメなどを購入

4、「坂田家蔵出しと瓦ロードを楽しむスタディツアー」受け入れ

(4月26日～27日(株)ユーラスツアーズ様主催)



◆ 坂田家の「蔵だしとやすだ瓦ロードを楽しむスタディツアー」を受け入れました。このスタディツアーは(株)ユーラスツアーズ様が主催し、トゲソの会が受け入れているものです。今年で3年目となります。2日間の日程で、東京方面からバスでお越しいただきました。

1日目は、坂田家で「着物の蔵出し」を体験しました。講師より、蔵出しをした昔の袴や子どもの晴れ着を説明してもらい、リメイクして再利用していただくお話を聞きました。その後、皆さんで坂田家の庭にある「葉わさび」を採り酒粕漬けを造りました。

◆ 2日目は、咲花温泉に宿泊していただき、阿賀野市安田の瓦ロードを見学していただきました。午後からは菜の花満開の「福島潟」を訪れ、素晴らしい景観と春の花々をガイドさんから説明を受けました。越後の春、楽しんでいただけたでしょうか。

5、トゲソの観察会と坂田家の一般公開 (4月28日～29日)



◆ 第18回トゲソの観察会「坂田家一般公開と文化講演会」が開かれました。

午前9時半に、トゲソの池前に集まった参加者の皆様に、高橋理事長より挨拶がありました。その後、トゲソと生息水路を見ていただきました。

観察会を終え、2班に分かれ「坂田家の文化講演会」と「大沢川での魚捕り」コースが開かれました。

文化講演会では、越佐文人研究会代表の岡村鉄琴(新潟大学教授)先生から坂田家の書画について解説



があり、併せて文人画の鑑賞について講演がありました。

◆ また、大沢川の魚捕りに参加した皆さんは、子どもを含めて川に入り、実際に網で魚の捕獲を行いました。そして、どんな魚が生息していたかの説明と観察をしました。何と、久しぶりにトゲソが1匹捕獲されました。

昼食は近くの九区公民館で葉わさびの入ったおにぎりや豚汁を試食していただきました。

◆ 今回の坂田家公開は28日から2日間実施しました。前日は、裏千家の皆様による抹茶の席が設けられました。どばしっこ清水の湧水を使ったお茶会でした。参加者は100名ほどで、それぞれが芽吹いたばかりのハンノキ下で「トゲソの里」の春を楽しんでいただきました。ご参加と協力をしていただいた皆様、ありがとうございました。

- ▲前ページ：岡村先生の書画の文化講演会
- ▲上：観察会でトゲソを見る子どもたち
- ▼下：楽しかった。大沢川に入っの魚捕り。

6. セブン-イレブン記念財団さんの発表会 (5月9日)

◆ 一般社団法人セブン-イレブン記念財団さんの「自立支援事業」の発表会が5月9日に東京四ッ谷で開かれました。

トゲソの会は助成を受け3年目(322万円助成)に入ります。当日は、今年度採択された団体の授与式と、それぞれ各団体から1年間の取り組み報告がありました。トゲソの会は2年目の成果について発表しました。

この助成は、環境NPO組織の財政自立を応援するもので、当会は「湧水恵みセットの販売」「登録文化財坂田家を活用」した組織の自立を目指しております。

現状は自立にほど遠い状況ですが、湧水に棲む希少魚トゲソの保存のため、今年も農産物の販売に取り組んでいきます。

助成は今年で最期の年となります。水清き泉のシンボルとして「トゲソを保全」していくため、地元企業を含め「トゲソのたもて箱」の販売を進めてまいりたいと考えております。

どうぞ、支援者の皆様のご協力をお願いいたします。



▲上：中村事務局長が発表会で報告
下：助成団体の記念撮影



7、胎内市ノ トゲウオシンポジウムが開かれる (5月11日)



◆ 新潟県自然・環境保全連絡協議会が主催する「湧水の里観察会&シンポジウム」が5月11日に胎内市で開催されました。午前中は、胎内市地本地区の「どっこん水」がわき出る自然観察公園でイバラトミヨ(俗称イシャジャ)を初めとする多くの魚類を捕獲し観察しました。

午後からは、会場を移し市産業会館で発表と意見交換がありました。当会、樋口理事よりミクリ復活の取り組み報告がありました。

8、第8期 トゲソの会総会が開かれる (5月25日)



◆ トゲソの会総会が5月25日(日)に市総合会館会議室で開かれました。

今年でトゲソの会は結成17年目となります。法人化しては7年目に入りました。今回は第8期の総会となりました。

総会は正会員40名中13名(他委任状24名)の出席がありました。議長を選出し、議事と監査報告がありました。非営利部門で約18万円の黒字、事業部門で約56万円の赤字となりました。非営利部門の黒字は、ほぼ全額が預かり金です。会計は一段と窮屈な状態に陥っています。

▲ 総会で挨拶する高橋理事長。

総会終了後、トゲソの現状と「ファンドレイジング」について勉強をいたしました。正会員の皆様には、後日議案書をお送りいたします。なお、理事については高橋理事長ほか現理事全員が留任となりました。

☆☆☆ 「トゲソのたもて箱」商品紹介のホームページをご覧ください。☆☆☆



◆ 会では、「地域ブランド商品」を紹介する「トゲソ村・湧水の里市場」のホームページを開設しています。

随時、「トゲ男・トゲ子のブログ」も公開しております。こちらのホームページもご覧いただけますようご案内いたします。

★事業部門ートゲソ村湧水の里市場<http://www.togeso.com/>

今後の行事予定

☆ 7月20日(日) AM 8:30~12:00

猿和田地区江浚い作業ートゲソの棲む水路の泥あげです。トゲソの棲む場所きれいにしてあげましょう。

■ 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三

事務所 住所 959-1643 五泉市土堀 295番地

電話 0250-47-4439 ・ FAX 0250-47-4440 メール gosen@togeso.com

事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1中村吉則方

電話・FAX 0250-22-0271 メール : togeso@beige.plala.or.jp

■ ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>